

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】令和7年2月12日(2025.2.12)

【国際公開番号】WO2024/185612

【出願番号】特願2024-542161(P2024-542161)

【国際特許分類】

B 3 2 B 27/36(2006.01)

C 0 8 J 5/18(2006.01)

C 0 8 J 7/04(2020.01)

B 3 2 B 27/00(2006.01)

C 0 8 L 101/16(2006.01)

10

【F I】

B 3 2 B 27/36

C 0 8 J 5/18 C F D

C 0 8 J 7/04 Z

B 3 2 B 27/00 L Z B P

C 0 8 L 101/16

【手続補正書】

20

【提出日】令和6年7月16日(2024.7.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

基材層と前記基材層の片面又は両面に離型層を有する積層フィルムであって、

前記基材層は、ポリ乳酸を含む樹脂組成物からなるポリ乳酸フィルムを含み、

前記ポリ乳酸フィルムは、長手方向の引張弾性率 E_a 及び幅方向の引張弾性率 E_b が $E_a + E_b > 8.0 \text{ GPa}$ の式を満たし、結晶化度が40%以上90%以下であり、150、30分間加熱したときの、長手方向の熱収縮率と幅方向の熱収縮率とのそれぞれが10.0%以下であり、

前記離型層は、表面の最大突起高さ(P)が200nm以下であり、算術平均粗さ(S_a)が10nm以下である、積層フィルム。

30

【請求項2】

前記ポリ乳酸フィルムは、120、30分間加熱したときの長手方向の熱収縮率と幅方向の熱収縮率とのそれぞれが3.0%以下である、請求項1に記載の積層フィルム。

【請求項3】

前記ポリ乳酸フィルムは、L-乳酸/D-乳酸の重量比が100/0~85/15である、請求項1に記載の積層フィルム。

40

【請求項4】

前記ポリ乳酸フィルムは、全光線透過率が75%以上であり、ヘイズが3%以下である、請求項1に記載の積層フィルム。

【請求項5】

前記ポリ乳酸フィルムは、前記離型層を形成する少なくとも一方の表面の算術平均粗さ(S_a)が10nm以下かつ最大突起高さ(P)が200nm以下である、請求項1に記載の積層フィルム。

【請求項6】

50

前記離型層はシリコーン離型成分を含有する組成物からなる、請求項1に記載の積層フィルム。

【請求項7】

セラミックグリーンシート製造用の離型フィルムである、請求項1～6のいずれかに記載の積層フィルム。

10

20

30

40

50